



RAKUWA
lecture of health

第49回

らくわ健康教室

2011年4月15日



のどの「がん」を ご存じですか？

洛和会音羽病院

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長

あら き みち とし
荒木 倫利



子どもたちのために、未来へ…

洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院

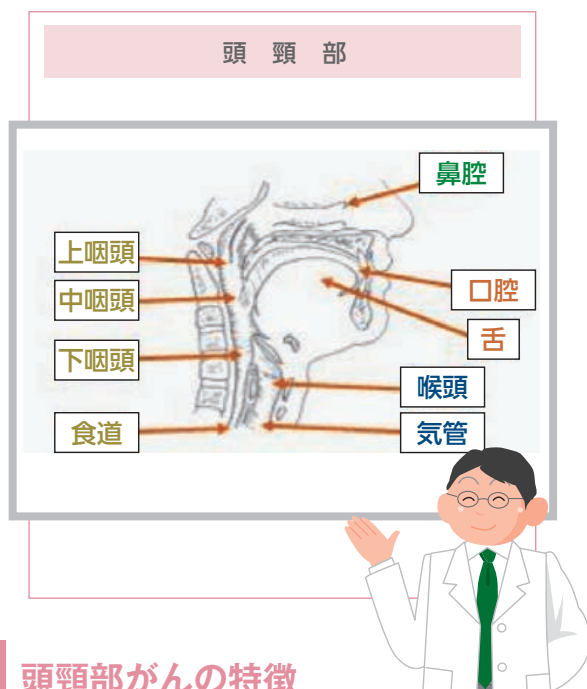


RAKUWA
lecture of health

第49回 らくわ健康教室 2011年4月15日

のどの「がん」をご存じですか？

のどのがん、「頭頸部がん」は日本人がかかるがんの内の約5%の割合を占めている。頭頸部とは、脳や脊髄、眼窩内を除く、顔面頭蓋から頸部にかけての部位のこと。



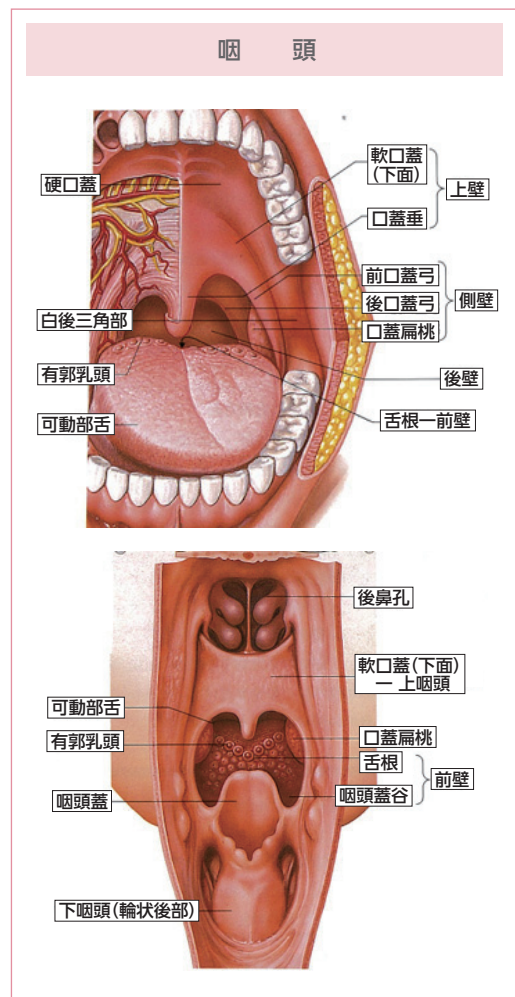
頭頸部がんの特徴

- 聴覚、平衡覚、臭覚、味覚などの感覚器に関係している
- 呼吸、発声、摂食、嚥下などと密接に関係している
- 狭いところに組織が密集している器官で余裕がない
- 露出部分が多いため、比較的外部から見ることができる
- 放射線治療が比較的效果をあげる場合が多い

また、衣服が覆う場所ではないので、治療の結果が見えてしまう場所でもある。

頭頸部がんの種類

- 口腔がん
- 上顎洞がん、鼻腔がん
- 上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん
- 喉頭がん（のどぼとけ）
- 甲状腺がん
- 唾液腺がん
- 原発不明（ほかの器官から飛んできたがん）

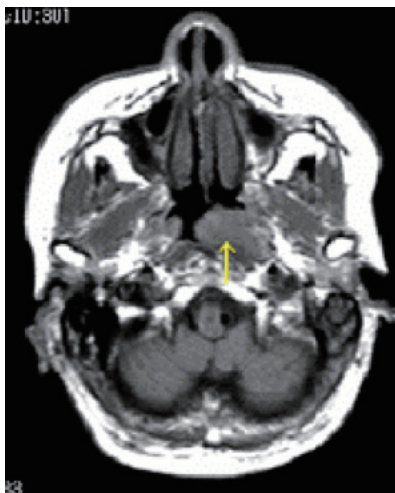




上咽頭がん

鼻腔の後方で、口蓋より上方にできるがんで、アジア、特に中国南部に多く見られるが、比較的まれである。

上咽頭がんの症状



- 耳閉感、難聴、耳鳴り
- 鼻詰まり、鼻血を繰り返す
- 複視などの脳神経症状
- 頸部リンパ節腫脹など



上咽頭がんの治療

手術は難しく、抗がん剤や放射線治療が良く効く。また、転移リンパ節を認める場合は、頸部郭清術（リンパをとる）を行う。

中咽頭がん

上方は硬口蓋と軟口蓋との移行部、下方は舌骨、前方は舌後方3分の1の部位にできるがん。

中咽頭がんの症状

- 食べ物がしみるなど、口腔内の痛み
- 初期には症状がないこともある
- 症状が出ていても、所見がはっきりしないことがある
- 頸部リンパ節が腫脹

中咽頭がんの治療

初期の場合は、切除手術、あるいは放射線治療。進行がんの場合は、それらに加えて化学療法を行う。

下咽頭がん

上方は舌骨の高さに、下方は輪状軟骨下縁までの高さに、前方には喉頭、下には食道がある部位にできるがん。

下咽頭がんの症状

- 初期症状がほとんどない
- のどの異物感、飲み込む時のひっきり感
- 進行が進むと呼吸困難も



のどの「がん」をご存じですか？

下咽頭がんの治療

初期の場合は放射線治療、場合によって頸部郭清術を行う。進行がんの場合は手術、放射線治療、化学療法を組み合わせて治療する。

喉頭がん

喉頭、気管の入り口、声帯があるところに行える。声門がん（声帯）、声門上がん（声帯より上方）、声門下がん（声帯より下方、裏側）などがある。

喉頭がんの症状

- 声門がんは声のかすれなど、わかりやすく、早期発見で治りやすい
- 声門上がんや、声門下がんには初期症状があまりなく、発見されにくい
- 症状が進めば、呼吸困難感を引き起こす

喉頭がんの治療

初期の場合は放射線治療、進行している場合は、放射線治療と合わせて喉頭全摘出術などの手術を行う。また、必要があれば、化学療法も行う。

